

平成25年度 流域モニタリング一斉調査

調査河川： 野田川

調査場所： 飯田線下流部 矢作橋下流100m位置

調査日時： 7月15日(月)AM11:00 ~ 12:30

調査報告書

調査主催者 新城市環境部環境課

調査団体 飛煙社

西尾 幸男

服部 光勇

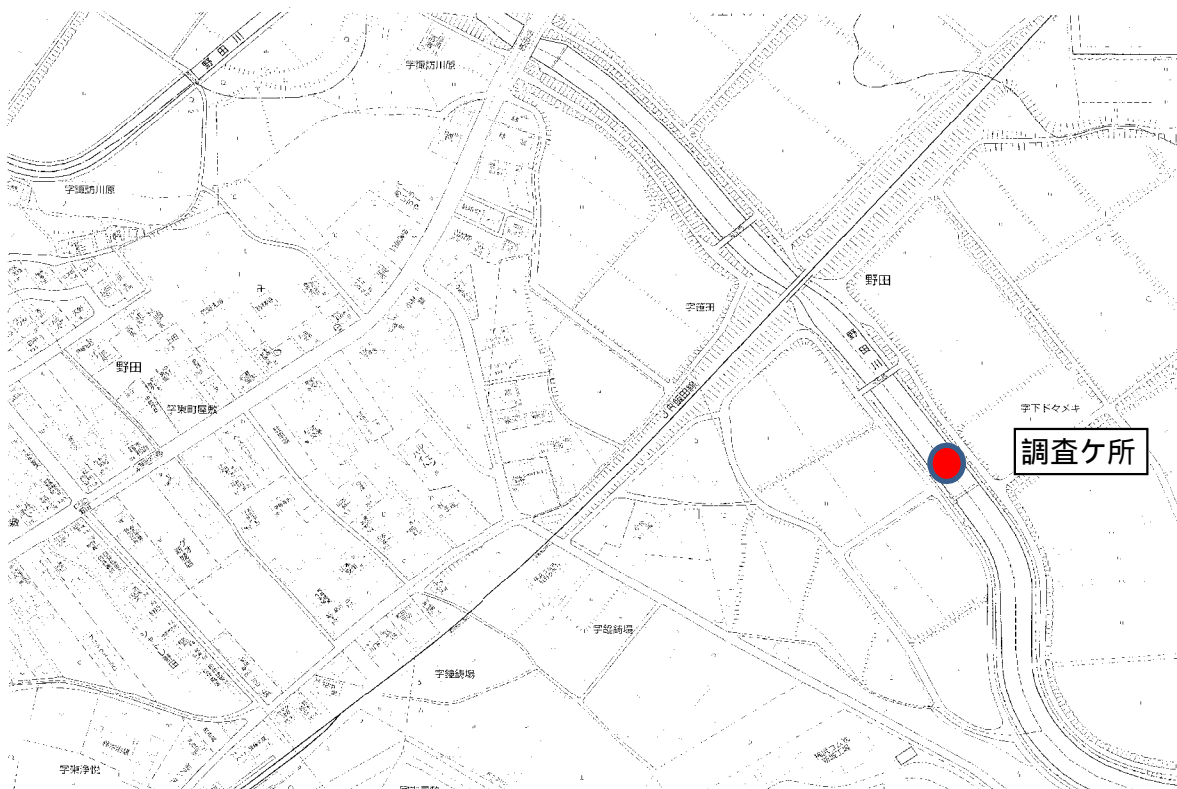
1.モニタリング調査参加について、

あいちの水循環再生指標にもとずき、地元の人が環境に興味もち河川調査を行い結果を環境課へ報告するのがモニタリング調査の目的であると思われる。

平成22年から、この調査で身近な川となり興味の対象となったが、自宅から離れているため遊びに行く機会がなく川の様子を見る程度である。ただ、この調査に参加して環境に注意を払う気持ちが出てきたのは確かである。

2.調査箇所、

新城市野田字下ドメキ 地区



3.水のきれいさ(平均 3.7点)について、

水のおい、水に浮いた油や泡についての評価は4とした。

去年とくらべると、工事による影響は少なくなり水の色・にごりが減ったと思われる。川底のヌメリ感が取れないのは流れが遅いためと考える。そのヌメリ感は場所＃で感じない所もあり、よって評価を3とした。

4.水の量(平均 2.3点)について、

流量河川断面 $A=3.45\text{m}^2$

水面幅 $B=16.5\text{m}$

流速 $V= 0.03\text{m/S}$

流量 $Q= 0.12\text{m}^3/\text{S}$

去年の調査と比べて、川幅・流速・流量は大きく変わらずまとまった雨が少なく川全体の水量が少なく流速に影響がでていると思われる。

水位については、堰に近い去年とあまり違いが出ないと思われる。わき水については付近に形跡がない、よって評価できず。

5.生態系(平均 3.7点)について、

生態系の様子として、アユ・カワムツ・ヨシノボリ・モエビ・オイカワ等が結構生息している。

今年は、去年確認しなかった外来種のアメリカザリガニの確認をした。

その他、石の下に棲む水生生物について、トビゲラ(写真)の確認と川虫(種類不明)の確認をしたが、す速く動くため写真が取れなかった。

6.水辺のようす(平均 2.9.点)について、

ゴミについて、よく見ればあるという程度で気になる程ではない。




水の透視度調査では70cm位で線が見えにくくなり、多少の濁りはみられる程度である。

自然度・景観については、地元の人が時々子供を連れて魚を捕りに来ると言うこと聞いたので評価を3とした。

せっかくこの河川には魚道が設置してあり、そこには魚影が濃いので階段でなくスロープで簡単に下りられる箇所を増やして川で遊ぶことを覚える場所にしたら良さそうと思われた。

調査票

調査票を提出する際には、調査地点のわかる地図を添付してください。

グループ名	飛煙社	調査日時	25年7月15日(月) 午前 11時00分		
名前	西尾 服部	調査場所	野田川	川の幅 16.5 m	
		参加人数	3人	天気	  

水のきれいさ

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	安全できれいな水 ←————→ 利用しにくい水						
1.水の色	無色	中間	少し色がある	中間	濃い色がついている	4点	平均 3.7点
2.水にごり	透明	中間	少しにごっている	中間	とてもにごっている	4点	
3.水におい	においを感じない	中間	いやなおいを少し感じる	中間	いやなおいを強く感じる	4点	
4.水に浮いた油や泡	泡はない 油のまきはなし	中間	泡が少しある 油のまきが少しある	中間	泡が多い 油のまきが多い	4点	
5.水の底の感しよく	心地よい	中間	ちょっとヌルヌルしている	中間	ヌルヌルして気持ちわるい	3点	
6.CODパックテスト調査 mg/l	2mg/l以下	3mg/l以下	5mg/l以下	8mg/l以下	8mg/lをこえる	3点	

水の量

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	十分な流れがある ←————→ 流れがほとんどない						
1.流れのはやさ	水面に波がある ような流れがある	中間	水面は波がないが はつきり流れているとわかる	中間	流れがほとんどない	3点	平均 2.3点
2.流れの変化	瀬・淵・ワンドなど 多様な流れがある	中間	流れに変化がある	中間	流れに変化がない	2点	
3.わき水の様子 ^{※1}	以前と変わらない水量 のわき水(湧水)がある	中間	少ないけど わき水(湧水)がある	中間	わき水(湧水)が なくなった	1点	
4.川の深さ cm	60cm以上	40cm~60cm	20cm~40cm	10cm~20cm	10cm未満	3点	
5.川の流れの速さ cm/秒	60cm/秒以上	40cm/秒 ~60cm/秒	20cm/秒 ~40cm/秒	10cm/秒 ~20cm/秒	10cm/秒未満	1点	

備考 ※気づいたことがあれば、記入してください。

注) 水の量の評点は、河川の源流域、河口部などや、湖沼、ため池、海では使用しない。
 評点の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。
 ※1: 湧水が過去に確認されている場合のみ使用。

せいたいけい
生態系

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	生物が豊かな水環境 ← 生物がいる水環境 → 生物がほとんどいない水環境						
1.魚のようす	たくさんいる	中間	たまに見かける	中間	魚がいない	5点	平均 3.7点
2.水ぎわの植物	いろいろな植物が多くはえている	中間	植物がはえている	中間	植物はない	3点	
3.周辺の植物	木が多くはえている	中間	緑がある	中間	緑はない	3点	
4.周辺の生き物	いろいろな種類の生き物がいる	中間	たまに生き物を見る	中間	生き物はない	3点	
5.外来種	いない	少ない	やや多い	多い	外来種しかない	4点	
6.水質 (生き物による水の きれいさの階級)	I	II	III	IV	何もいない	4点	

みすべ
水辺のようす

(水生動物)が いる アユ・川ムツ・ヨシボリ・アノカサリカ
トビゲラ オイカワ

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点	
	5	4	3	2	1			
	快適な水辺 (積極的に活用したい水) ← 水辺を活用できる程度 → 不快な水辺							
1.ごみ	ごみがない	中間	ごみが ところどころある	中間	ごみが多い	4点	平均 2.9点	
2.水辺の利用	水のまわりや中で 遊びたい	中間	ながめたり さんぽをしたい	中間	近づきたくない	3点		
3.水辺への 近づきやすさ ※2	どこからでも 水辺に近づける	中間	水辺に近づける ところがある	中間	近づけない	3点		
4.水辺の自然度 ※3	緑が多く 自然が豊か	中間	緑はある	中間	人工的な水辺	3点		
5.水辺の景観	全体が調和していて こちがよい	中間	調和していない ところもある	中間	まわりの風景と うまく調和していない	3点		
ヒア リ ン グ 調 査	6.散歩・レジャー さんぽ	多くの人に毎日のように 利用されている	中間	ときどき 利用されている	中間	利用されていない		3点
	7.環境学習 かんきょうがくしゅう	多くの人に 利用されている	中間	ときどき 利用されている	中間	利用されていない		2点
	8.環境保全活動 かんきょうほぜんかつどう	多くの人 が活動している	中間	ときどき 活動している人がいる	中間	活動している人が いない		1点
9.透視度 とうしど	80cm以上 70 cm	60cm~80cm	40cm~60cm	20cm~40cm	20cm以下	4点		

選択項目数

※特に重要と考える
調査項目を選択

選択項目点数

点

備考 ※気づいたことがあれば、記入してください。

周囲に人が居ないで 静かさが 出ている

注) 評点の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。

※2、※3: 相反する評価となる可能性がある。



野田川

7月15日

上流方向

P7230030



下流方向

P7230031



CODパケットテスト

5mg/l

P7230032



野田川

7月15日

水性生物「トビゲラ」

P7230034



カワムツ

ヨシノボリ

アメリカザリガニ

P7230035



カワムツ

ヨシノボリ

アメリカザリガニ

P7230036

野田川

